

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第1回寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会
2 開催日時	令和7年12月18日(木) 午後1時から
3 開催場所	寺ヶ池公園管理事務所 2階会議室
4 会議の概要	別紙会議要旨のとおり
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 成長戦略局 成長戦略部 まちなハード戦略室 まちデザイン課 (内線 443)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第1回河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会 会議要旨

○開催日時

令和7年12月18日（木）午後1時から午後3時

○開催場所

寺ヶ池公園事務所会議室

○出席者

加我委員（WEB参加）、巽委員、江川委員、皆田委員、森委員、奥開委員、野村委員、赤松委員、木ノ下委員、西口委員、長瀬委員（欠席）、須田委員（欠席）

○傍聴者

0名

○会議要旨

事務局において、資料1～4の説明を行った。

委員より、次のとおり意見があった。

- ・ 「世界かんがい施設遺産」の認知度向上を目的として、説明・啓発のためのサインや資料館の設置を検討してほしい。
- ・ 池の景観をより前面に出し、寺ヶ池のイメージを強化してほしい。
- ・ 滞在時間を延ばすため、新設トイレなどの施設を充実してほしい。
- ・ 駐車場の渋滞緩和に向けて、一方通行など動線の見直しを検討してほしい。
- ・ パークセンターの改善により子どもの学びや遊びの場として活用されているため、さらに充実させてほしい。

事務局において、資料5～6の説明を行った。

委員より、次のとおり意見があった。

【設計方針について】

- ・ 他の公園との差別化を踏まえた寺ヶ池公園ならではの提案がされると良い。
- ・ 平日も来訪を促すシンボリックコンテンツを検討してほしい。

【ゾーニング・動線について】

- ・ リニューアル後も地域住民が関わり続け、共に作り上げていく箇所があっても良い。
- ・ 年齢別や行動パターンに応じたゾーニング配置が検討されると良い。

【防災機能について】

- ・ 広域避難所としての機能（収容・屋根・物資置場・動線）を具体化してほしい。
- ・ 仮設トイレや駐輪場転用など防災対応を検討してほしい。
- ・ 広域避難所として平坦な場所がより確保されると良い。

【景観について】

- ・ 谷池を活用した独自の景観設計を検討してほしい。
- ・ 各ゾーニング内から池が見えると良い。

【ぎんなん通りについて】

- ・ 安全性向上のため、現行の道路側通学路を見直し、園内を通学路として活用する案を検討するとともに、防犯カメラの設置も併せて検討してほしい。

【水景施設について】

- ・ 現状、壊れた噴水が放置されているが、新たに水遊び場を設置する場合にも同様の事態が起きないように、老朽化や故障時に速やかに修繕・代替対応ができる施設を検討してほしい。（例：可搬式スプリンクラーを使用した簡易な水遊び等）

【植栽について】

- ・ 既存の樹木を活かしながら公園に馴染む伐採計画を提案してほしい。
- ・ 計画的伐採により視界確保、防犯、通風、安全性を向上させてほしい。
- ・ 植栽景観設計の際に、樹木の管理手法や伐採の選定調査を行い、提案してほしい。

【維持管理について】

- ・ 市民参加による清掃や花壇管理の仕組みが拡大されると良い。
- ・ リニューアルに伴い、公園のルールが整理されると良い。

【駐車場について】

- ・ 将来的な利用を見据えた駐車台数を設定した上で、駐車場の拡幅を計画してほしい。

【その他】

- ・ ワークショップを通じて愛着形成が促進されると良い。
- ・ イベント周知方法（公式HP・SNS・チラシ配布の校区調整等）を改善されると良い。

○今後の予定

- ・ 第5回ワークショップ：1月24日（予定）
- ・ 第2回検討委員会：2月中旬～3月上旬（予定）-基本設計案、植栽方針
- ・ 来年度：四季の広場の実施設計
- ・ 令和9～10年度：工事実施（想定）

以上

第1回

河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会

日時：令和7年12月18日（木）13：00～15：00

場所：寺ヶ池公園管理事務所 2階会議室

議 事 次 第

1. 委嘱状交付
2. 委員の紹介
3. 事務局挨拶
4. 会長・副会長の選出
5. 会長挨拶
6. 議 事
 - (1) 寺ヶ池公園及び四季の広場周辺の概要について (資料1)
 - (2) リニューアル計画について (資料2)
 - (3) 市民意向調査（WS・社会実験）について (資料3)
 - (4) 課題や設計方針について (資料4)
 - (5) ゾーニング・整備コンセプト（案）について (資料5)
 - (6) 今年度における今後のスケジュールについて (資料6)
7. その他

《配布資料》

- 参考資料1 河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会 委員名簿
参考資料2 河内長野市寺ヶ池公園リニューアル事業検討委員会設置条例
参考資料3 寺ヶ池公園リニューアル計画

1. 寺ヶ池公園及び四季の広場周辺の概要

1.1. 背景と目的

寺ヶ池公園は、昭和 39 年に開設された本市唯一の総合公園です。この公園は、市内最大のため池である寺ヶ池を囲うように整備された自然豊かな公園であり、子どもから大人まで楽しめる多世代交流の場として利用されています。また、令和 3 年 11 月に寺ヶ池・寺ヶ池水路が世界かんがい施設遺産として登録されたことから、歴史や文化に親しむ場所としても楽しまれています。

しかしながら、寺ヶ池公園は開設から 60 年が経っていることから、公園内全域において施設の老朽化が進み、リニューアルが必要となっています。また、近隣に位置する赤峰市民広場が令和 6 年 6 月末の産業用地化に伴い廃止され、特に子どもが遊ぶ遊具や運動場の確保が困難となっています。そのため、寺ヶ池公園ではこれまで赤峰市民広場が担ってきた公園機能の代替え地としても期待されており、寺ヶ池公園に求められる役割はますます大きくなってきています。

このような状況を踏まえ、寺ヶ池公園が持っている自然や文化の魅力を向上させつつ、子どもを中心に様々な人が楽しめる公園を目指すため、利用者や子ども・子育て世代の意見を取り入れ、今後の時代を見据えた施設の更新、再整備など、効果的なリニューアルを進めていきます。

1.2. 対象エリア

本計画の対象エリアは、基本設計においては寺ヶ池公園四季の広場周辺（約 2.3ha）、植栽景觀設計においてはスポーツ施設を除く寺ヶ池公園全域（約 12.0ha）となっています。

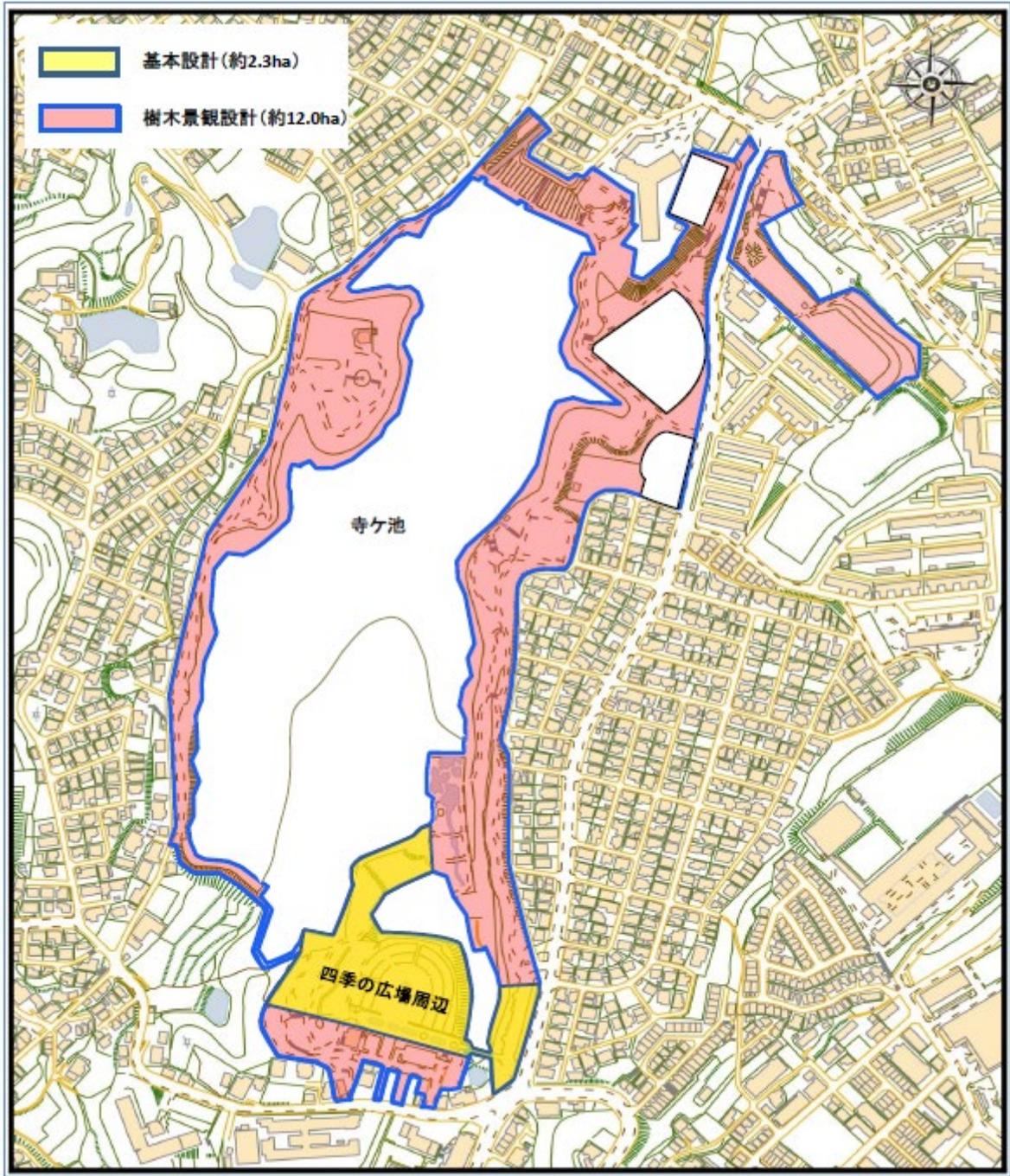


図 1.1 対象エリア

1.3. 現状把握

(1) 寺ヶ池公園の概要

寺ヶ池公園は、市内唯一の総合公園として、河内長野駅より約 1.9km、千代田駅より約 1.7km 離れた場所に位置しています。公園内の施設は、四季の広場、弁天山広場だけでなく、野球場、テニスコート、ゲートボール場、市民 プール（夏のみ営業）などがあり、子どもから大人まで広く市民に利用されています。

【所在地】 大阪府河内長野市小山田町 674 番地の 5（寺ヶ池公園管理事務所）

【開設】 昭和 39（1964）年

【公園種別】 総合公園

【供用面積】 都市計画決定 25.4ha（うち、開設面積 13.5ha）

(2) 赤峰市民広場

寺ヶ池公園の近隣に位置する赤峰市民広場は産業用地として整備されるため、令和 6 年 6 月末に廃止されました。この広場には、野球やグランドゴルフができるグラウンドに加え、大きなすべり台などの子ども向け遊具や健康遊具などがあり、多くの市民に親しまれてきました。このような、遊具をはじめとした赤峰市民広場がこれまで担ってきた公園機能の代替を行うことが寺ヶ池公園に求められています。

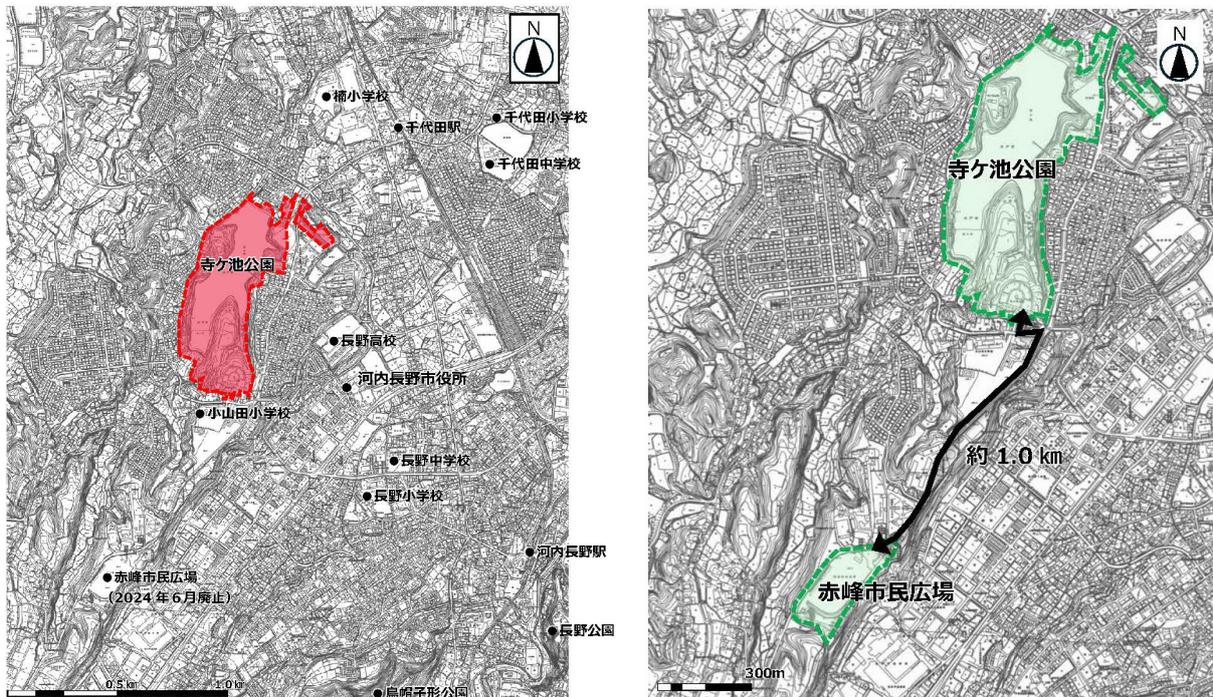


図 1.2 寺ヶ池公園の位置（左）、赤峰市民広場の位置（右）

1.4. 各エリアの現状

(1) 四季の広場付近



主要なエリア

図 1.3 四季の広場付近

(2) アイリスの谷・ロックガーデン

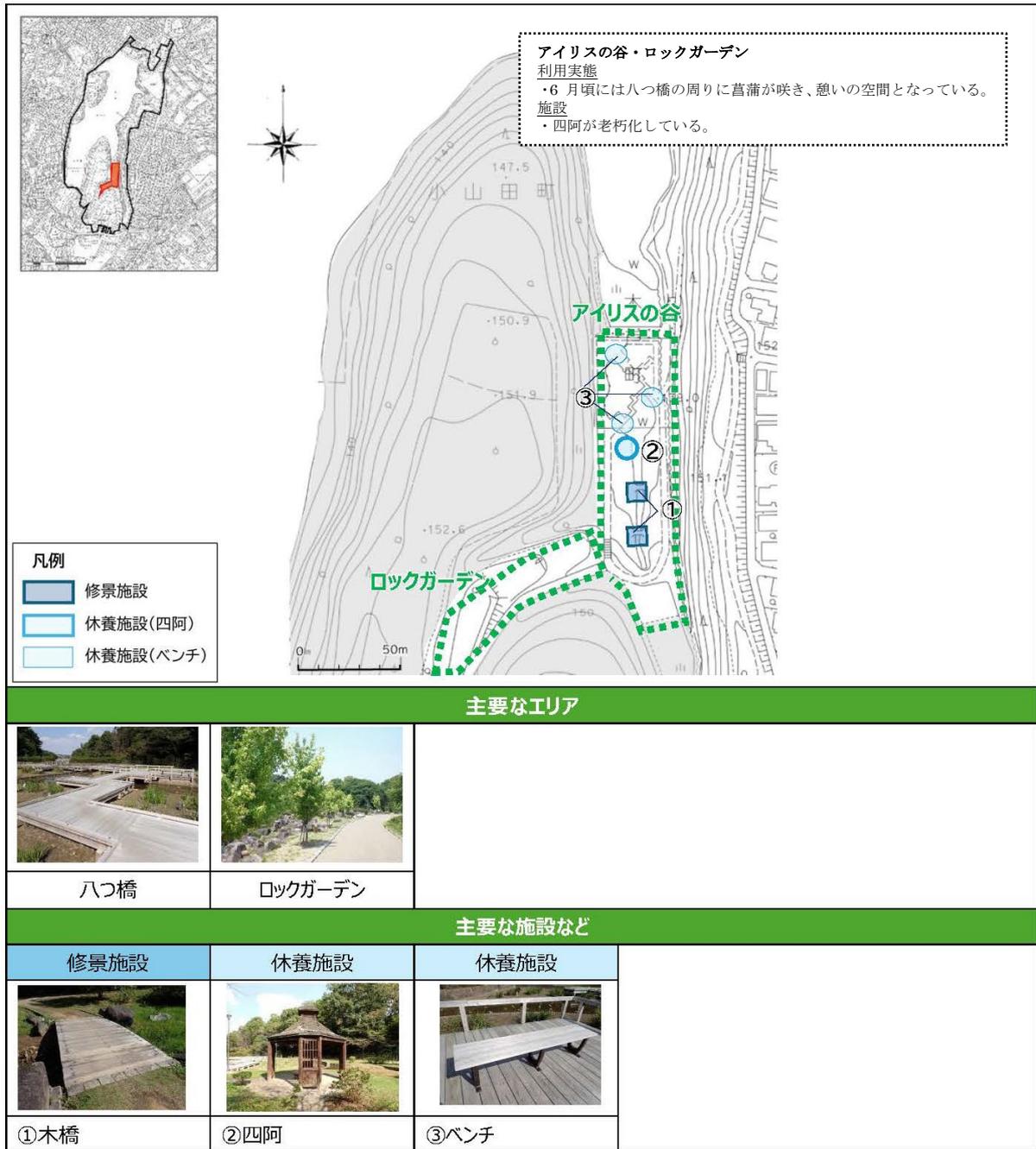


図 1.4 アイリスの谷・ロックガーデン

2. リニューアル計画（R7）について

2.1. 公園全体のコンセプト

令和7年「寺ヶ池公園リニューアル計画」において、「きてみてあそんでみんなが楽しむ寺ヶ池公園」を全体コンセプトに、公園の自然や文化の魅力を向上させ、子どもを中心に様々な人が楽しめる公園を目指したリニューアルが計画されています。

1 全体コンセプトと基本方針

(1) 全体コンセプト

寺ヶ池公園は、本市唯一の総合公園であり、子どもだけでなく大人も楽しめる多世代交流の場として利用されています。また、世界かんがい施設遺産として寺ヶ池が追加されたことや近隣に位置する赤峰市民広場が産業用地化に伴い廃止されることから、寺ヶ池公園が持っている自然や文化の魅力を向上させつつ、地域の子どもの居場所となる公園を目指すため、より一層の今後の時代を見据えた施設の更新、再整備など、効果的なリニューアルを進めることが求められており、より市民に親しまれる公園となるよう、ワークショップ等を開催し、市民参加型の公園づくりに取り組んでいきます。

以上の状況を踏まえて、本計画の全体コンセプトを以下のように設定します。

きてみてあそんでみんなが楽しむ寺ヶ池公園

(2) 基本方針

方針①憩いの場、交流の場の創出

インクルーシブの視点を取り入れ、誰もが自由な遊び方ができ、イベントをより快適に実施し楽しめる空間を創出するとともに、防犯面にも配慮した安全・安心に利用できる空間づくりを目指します。

方針②子どもの遊び場の創出

既存の遊具の機能を見直しながら、乳幼児・児童の年齢別に新たな機能を持った遊具を設置するとともに、大人が見守る空間を確保し、快適な空間づくりを目指します。

方針③市民の健康づくりの機会の創出

園路を利用したウォーキングルート及びランニングルートの設定など、自然を楽しみながら健康づくりができる空間づくりを目指します。

方針④人と自然がつながる空間の創出

みどりの中で安らぎを感じながら、世界かんがい施設遺産である寺ヶ池の水景が楽しめる空間づくりを目指します。

方針⑤防災機能の整備

市内で唯一の広域避難所として、オープンスペースの確保や防災関連設備の充実を図り、防災力の向上を目指します。

図 2.1 全体コンセプトと基本方針

出典：「寺ヶ池公園リニューアル計画」

2.2. 四季の広場周辺の整備方針

リニューアル計画において、四季の広場周辺は、方針①憩いの場、交流の場の創出、方針②子どもの遊び場の創出、方針⑤防災機能の整備の3つの方針について重点的な整備方針が掲げられています。



図 2.2 四季の広場付近の整備方針

出典：「寺ヶ池公園リニューアル計画」

3. 市民意向調査について

3.1. 第1回市民ワークショップ

みんなでつくる！ 寺ヶ池公園 リニューアル ワークショップ ニュース vol.1



寺ヶ池公園は開設から60年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、近隣にあった赤峰市民広場が廃止されたことにより、地域子どもたちが安心して遊べる場所の確保が新たな課題となっています。

こうした背景を受け、市では令和6年度に「寺ヶ池公園リニューアル計画」を策定し、公園の再整備に向けた取り組みを進めています。

その一環として、第1回市民参加型ワークショップを開催し、多くの方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

このニュースレターでは、ワークショップで出されたさまざまなアイデアやご意見を紹介し、今後の公園づくりにどう活かされていくのかをご報告します。

第1回の流れ

趣旨説明

対話のエクササイズ

グループワーク

テーマ 「わたしの楽しみ方」を考えてみよう

グループワークの発表

WSの様子



図 3.1 第1回ニュースレター (1/2)

3.2. 第2回市民ワークショップ

みんなで作る!

寺ヶ池公園 リニューアル ワークショップ ニュース

vol.2



2025.10.18(土) 第2回ワークショップを開催しました!

河内長野市では、寺ヶ池公園のリニューアルを予定しており、取り組みの一環として、みなさまと一緒に公園について考えるワークショップを開催しています。

第2回目のワークショップでは、「新しい四季の広場のアイデアを考えてみよう」をテーマのもと、多くの市民の方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました!

前回のワークショップでは、「普段の過ごし方」や「やってみたいこと」について話し合いました。今回はその内容を踏まえ、より具体的なアイデアについて意見を交わしました。

このニュースレターでは、ワークショップで出された様々なアイデアやご意見を紹介し、今後の公園づくりにどう活かされていくのかをご報告します。

第2回の流れ

- 前回のおさらい
- 四季の広場周辺の現地調査
- グループワーク
テーマ 「新しい四季の広場のアイデア」を考えてみよう
- グループワークの発表



図 3.2 第2回ニュースレター (1/2)

ワーク | 「新しい四季の広場のアイデアを考えてみよう！」

四季の広場で現地調査を行い、リニューアル後の広場で「いつ・誰と・どこで・何をするのか」をテーマに、具体的な過ごし方を話し合いました。出されたアイデアは旗パーツにまとめ、最後に四季の広場周辺の模型に差し込みながら、みんなで一つのマップを完成させました！



主な意見を紹介します！

テーマ ●遊び ●散歩・運動 ●飲食
●休憩 ●イベント

1 ロックガーデン

- 水遊び ●虫取り
- 自然学習 ●散策
- ドックラン
- 弁当を食べる
- 植栽スタンプラリー

2 丘・せせらぎ

- 水遊び ●虫取り
- ドングリ拾い
- 落ち葉・木の実拾い
- 丘すべり
- 金剛山を見ながらランチ
- 景色を眺める

3 四季の広場

- マルシェ ●イルミネーション ●音楽イベント ●お花見 ●土いじり・家庭菜園
- ラジオ体操 ●サッカー ●お散歩 ●自転車練習 ●青空ヨガ ●アイススケート
- 池を眺める ●写真撮影 ●ピクニック ●モモ狩り ●植物観察



4 トレリス・噴水

- 弁当を食べる
- 噴水を見ながらティータイム
- ウォーキング ●お散歩
- 外周ランニング
- 木陰で休憩 ●談笑
- お絵描き

5 イチョウ並木

- スケートボード
- ストライダー
- ウォーキング
- 池を眺める
- キッチンカー

大人から子どもまで活発な意見交換が行われました！
みなさんのご意見から、今後の検討ポイントが見えてきました。

お問い合わせ先 河内長野市まちデザイン課 Tel 0721-53-1111(内線 443・416)
Mail toshisousei@city.kawachinagano.lg.jp



▲WS詳細はこちらから

図 3.2 第2回ニュースレター (2/2)

3.3. 第3回市民ワークショップ

みんなで作る!

寺ヶ池公園 リニューアル ワークショップ ニュース

vol.3



河内長野市では、寺ヶ池公園のリニューアルを予定しており、その取り組みの一環として、地域の皆さんと一緒に公園の未来を考えるワークショップを開催しています。

第3回目のワークショップでは、四季の広場を対象に、将来の使い方検証やニーズを把握するための社会実験を実施しました。

インクルーシブ遊具や屋根付きテント、人工芝を設置し、公園での過ごし方についても検証を行いました。また、来場者のご意見を収集し、リニューアル後の使い方検討ができました。

この社会実験で得られた結果は、今後の基本設計に反映され、誰もが使いやすく、より魅力的な公園づくりにつながっていきます。

今回のニュースレターでは、当日の様子を報告します！

■会場マップ



図 3.3 第3回ニュースレター (1/2)

活動内容

みんなの遊び場

だれもが安心して遊べるように工夫された「インクルーシブ遊具」で、多くの子どもたちが楽しく体験してくれました！



人気だった遊具を3つご紹介します！

すべるゆうぐ まわるゆうぐ ぼらんすゆうぐ



体験ガーデン

四季の広場の花壇にみんなでチューリップの球根を植えました！

春には、色とりどりの花が広場を明るく彩ります。



ひとやすみ広場

人工芝やベンチテーブルなどの休憩スペースで様々なつろぎ方を体験していただきました！
緑に囲まれた心地よい空間で、思い思いに過ごす時間を楽しんでいただきました。



その他

縁日コーナー



音楽コーナー



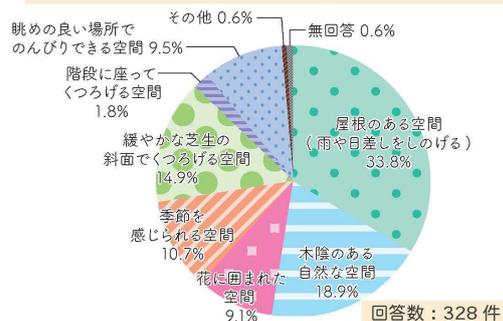
アンケート結果（抜粋）

実施期間中に寺ヶ池公園の社会実験へ参加された方を対象にアンケートを実施しました。

将来の四季の広場があると嬉しい休憩空間として、「屋根のある空間」の割合が33.8%と最も高く、次に「木陰のある自然な空間」の割合が18.9%という結果でした。

アンケート結果から、雨や日差しを避けながら、ゆったりと過ごせる快適な場所へのニーズが高いことがわかりました。

問：将来、四季の広場周辺にどのような休憩空間があると嬉しいか教えてください。（複数回答）



2日間で子どもから大人まで多くの方に来場していただきました！
ありがとうございました！

お問い合わせ先 河内長野市まちデザイン課 Tel. 0721-53-1111(内線 443・416)
Mail toshisei@city.kawachinagano.lg.jp



▲WS詳細はこちら

図 3.3 第3回ニュースレター (2/2)

4. 課題や設計方針について

4.1. 敷地現況分析について



図 4.1 敷地現況分析図

4.1.1. 景観

◆かしの木山からの眺め

頂上付近は見晴らしが良く、樹木や周辺の地形、施設により、金剛山の様々な見え方を楽しむことができる。



↓①の景



↓②の景



↓③の景



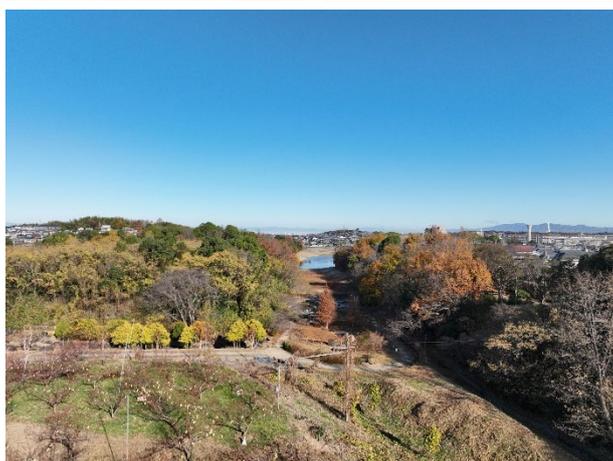
◆寺ヶ池への眺め

フェリース橋や四季の広場外周部からは寺ヶ池を眺めることができる。

↓④の景（フェリース橋から）



↓⑤の景（四季の広場外周部から）



4.1.2. 植栽

◆ミモザ



引用：<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/39e86e921b1be96f117237277f9536e1c6239caa>

◆カワヅザクラ



引用：<http://kawachinagano-odekake.net/archives/info/4>

◆ユキヤナギ



引用：<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/39e86e921b1be96f117237277f9536e1c6239caa>

◆アメリカフウ



◆イチョウ



◆ユリノキ



4.1.3. エリア性

◆利活用性が高いエリア（四季の広場周辺）



◆利活用性を向上すべきエリア（西の流れ周辺）



◆地形や植栽による広場と西の流れエリアの分断



4.1.4. 動線

◆歩行者動線と車両動線の混在



4.3. 課題の整理

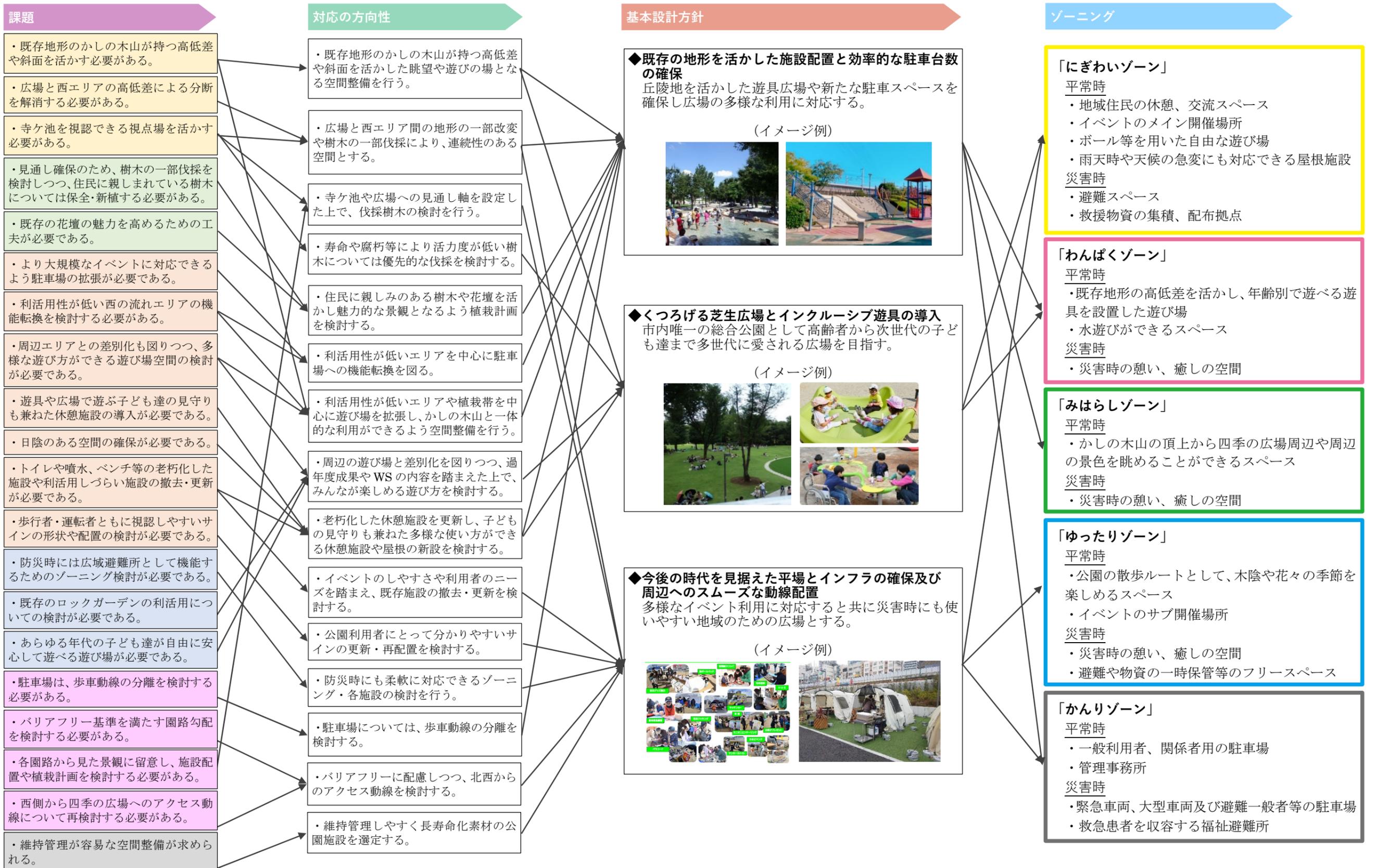
位置づけ・リニューアルの基本方針

◆全体コンセプト：『きてみてあそんでみんなが楽しむ寺ヶ池公園』 ◆ターゲット層：若年層、子育て層を中心とした全世代（※初回打合せより）
 ◆基本方針：①憩いの場、交流の場の創出 ②子どもの遊び場の創出 ③市民の健康づくりの機会の創出 ④人と自然がつながる空間の創出 ⑤防災機能の整備

現状、ポテンシャル、問題点等（・現状 ●ポテンシャル △問題点 ◆意見・要望）

	過年度成果（リニューアル計画）	過年度成果（アンケート、ヒアリング）	現地踏査結果	暫定 WS 結果（※3回目終了時点）	課題
地形			<ul style="list-style-type: none"> 四季の広場は、噴水を中心に馬蹄形の階段状で構成されている。 ●かしの木山は小高い丘となっており、<u>頂上からは周辺を見渡す</u>ことができる。 △四季の広場と西の流れエリアは高低差が大きく、<u>地形によってエリアが分断</u>されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>かしの木山</u>を活かしてほしい。 ◆丘やせせらぎで<u>高低差</u>を利用した遊び（すべる等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存地形のかしの木山が持つ高低差や斜面を活かす必要がある。 ・広場と西エリアの高低差による分断を解消する必要がある。 ・寺ヶ池を視認できる視点を活かす必要がある。
自然	<p>△かしの木山の草や樹木が大きくなり、<u>虫の発生や見通しの悪さ</u>など問題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆<u>花壇や桜がさらに充実</u>していると良い。 △公園全体において、<u>樹木の古木化・大木化・根上がり</u>などの問題が見受けられ、一部では密林化している箇所もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>四季の広場の外周の一部やアイリスの橋からは寺ヶ池を視認</u>することができる。 ●<u>サクラやミモザ、ユキヤナギ</u>等は、季節を楽しむ樹種として特に住民に親しまれている。 △樹木の古木化により、<u>ユズリハ等の根上がり</u>が見られる。 △広場外周部の樹木により見通しが悪い。 ●広場周辺の<u>花壇は指定管理者やボランティアによって日々手入れ</u>されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●春にはサクラとモモが開花して綺麗である。 ●<u>モミジバフウの実</u>で遊んでいる。 ◆<u>メインとなる花や樹木などのコンテンツ</u>があると良い。 ◆<u>かしの木山</u>を活かしてほしい。（再掲） ◆フィールドアスレチックが楽しそうである。 ◆花見や植物観察 ◆<u>花のある場所</u>でゆっくり休憩 ◆どんぐり・落ち葉拾い、虫採り ◆<u>季節ごとに自然の魅力を感じられる</u>広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し確保のため、樹木の一部伐採を検討しつつ、住民に親しまれている樹木については保全・新植する必要がある。 ・既存の花壇の魅力を高めるための工夫が必要である。
施設	<p>△駐車場は、イベント時や休日に満車となる事が多く、<u>駐車台数が不足</u>している。</p> <p>△四季の広場にある噴水が壊れたまま放置されている。</p> <p>△四季の広場にある中央噴水付近のタイルが滑りやすい。</p> <p>△四阿が<u>老朽化</u>している。</p> <p>△西の流れエリアの<u>水路には水が流れておらず、利活用されていない</u>。</p> <p>△トイレが老朽化しており、特にぎんなん通りの老朽化が著しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆四季の広場周辺に、<u>屋根付きの広場や遊具</u>があると良い。 ◆<u>水遊び</u>できる場所があると良い。 ◆老朽化した四阿やベンチ、トイレの更新。 ◆自動販売機の増設や、<u>カフェ等の飲食施設</u>。 ◆広場全体がより<u>平坦になることで、イベント時の利便性が向上</u>する。 ◆<u>色々な遊び方ができる複合遊具やトランポリン</u>等の需要も高い。 △イベント内容は駐車台数に制約される。 ◆<u>赤峰市民広場の代替</u>として、大きなすべり台や芝生広場など子どもの遊び場の充実。 	<p>△広場の階段ベンチは、<u>舗装の汚れ</u>が目立つ。</p> <p>△エントランスのトレリスは変色が目立つ。</p> <p>△広場外周部にある木製ベンチには一部変色が見られる。</p> <p>△広場外周部にあるボランティアによる花壇は<u>メイン園路から視認しづらい</u>。</p> <p>△駐車場入口の<u>サインが分かりづらい</u>。</p> <p>△かしの木山にある既存の石製ロングベンチが障害となり<u>自由に走り回ることが難しい</u>。</p> <p>△西の流れエリアには<u>休憩施設が少ない</u>。</p> <p>△西の流れエリアにかかっている橋の木製欄干は腐朽が見られ、安全性が低下している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆常設のオシャレなカフェ等の<u>飲食施設</u>があると良い。 ◆犬の散歩の利用者が多いため、<u>ドッグラン</u>の設置が望まれる。 ◆大きなすべり台、トランポリン等の遊具があると良い。 ◆<u>解説サイン</u>を読んで寺ヶ池の水路について学ぶ ◆遊びも休憩もイベントも出来る<u>多機能</u>な広場 ◆<u>屋根</u>のある空間（雨日除け、ステージ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・より大規模なイベントに対応できるよう駐車場の拡張が必要である。 ・利活用性が低い西の流れエリアの機能転換を検討する必要がある。 ・周辺エリアとの差別化も図りつつ、多様な遊び方ができる遊び場空間の検討が必要である。 ・遊具や広場で遊ぶ子ども達の見守りも兼ねた休憩施設の導入が必要である。 ・日陰のある空間の確保が必要である。 ・トイレや噴水、ベンチ等の老朽化した施設や利活用しづらい施設の撤去・更新が必要である。 ・歩行者・運転者ともに視認しやすいサインの形状や配置の検討が必要である。
利用	<ul style="list-style-type: none"> ●四季の広場は、最も利用されており、イベントが開かれる等<u>市民協働の拠点</u>となっている。 ●四季の広場では、普段から鬼ごっこやバドミントンなど<u>自由に遊ばれている</u>。 ●管理事務所は子ども達が室内で安心して遊べる空間となっている。 ●かしの木山は、ユキヤナギなど自然とふれあう空間となっている。 ●ぎんなん通りでは、サークルベンチ等があり、木立の中の憩い空間となっている。 ・<u>防災機能の整備</u>が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には高齢者の利用が多く、周回路での散策や健康遊具の利用が多い。 ●<u>四季の広場周辺の利用が最も多い</u>。 ●寺ヶ池公園に行く目的として、ウィーキング等が最も多い他、<u>花やみどりに親しみ、子どもと広場で遊ぶ、地域のイベントに参加する、子どもと遊具で遊ぶ人が多い</u>。 △<u>ロックガーデンは利用者が少なく、十分に活用されていない</u>印象がある。 ◆<u>自然の地形を活かした遊び</u>ができると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>地形に起伏があるため、他エリアでは見られない地形を活かした遊び方が可能</u>である。 ・四阿や木陰などで休憩する人が多い。 ・スケートボード、ローラースケートは禁止されている。 △西の流れエリアはあまり利活用されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆舗装の上でバスケットボールの練習がしたい。 ◆岩の上に乗る遊びや樹木を使ったかくれんぼが楽しそうである。 ◆子ども達がせせらぎや<u>ロックガーデンで水遊び</u> ◆<u>芝生広場でピクニック</u> ◆丘ですべる ◆<u>寺ヶ池の見えるスポット</u>で休憩・写真撮影 ◆<u>年齢別に子どもが安心して遊べる</u>広場 ◆走り回る、ボール遊びなど<u>自由に遊べる</u>広場 ◆水遊びなど<u>1年を通して遊べる</u>広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災時には広域避難所として機能するためのゾーニング検討が必要である。 ・既存のロックガーデンの利活用についての検討が必要である。 ・あらゆる年代の子ども達が自由に安心して遊べる遊び場が必要である。
動線			<p>△<u>駐車場の歩車動線が一部混在</u>しており危険である。</p> <p>△アイリスの谷から西の流れエリアに向かう<u>園路の勾配が緩やかでない</u>。</p> <p>△ロックガーデンから広場に向かう丸太階段は勾配がやや急であり、登りにくい。</p> <p>△西の流れエリアから広場を見ると視線の先に四阿があり、奥まで見通すことが出来ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ぎんなん通り沿いの<u>歩道が公園と一体化</u>して拡幅されることで通行しやすくなるとう良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は、歩車動線の分離を検討する必要がある。 ・バリアフリー基準を満たす園路勾配を検討する必要がある。 ・各園路から見た視線を考慮し、施設配置や植栽計画を検討する必要がある。 ・西側から四季の広場へのアクセス動線について再検討する必要がある。
維持管理			<p>△インターロッキング舗装の隙間から雑草が生えている箇所が複数見られる。</p> <p>△ボランティア花壇の担い手の高齢化。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理が容易な空間整備が求められる。

4.4. 設計方針について



5. ゾーニング・整備コンセプト（案）について

5.1. ゾーニング（案）

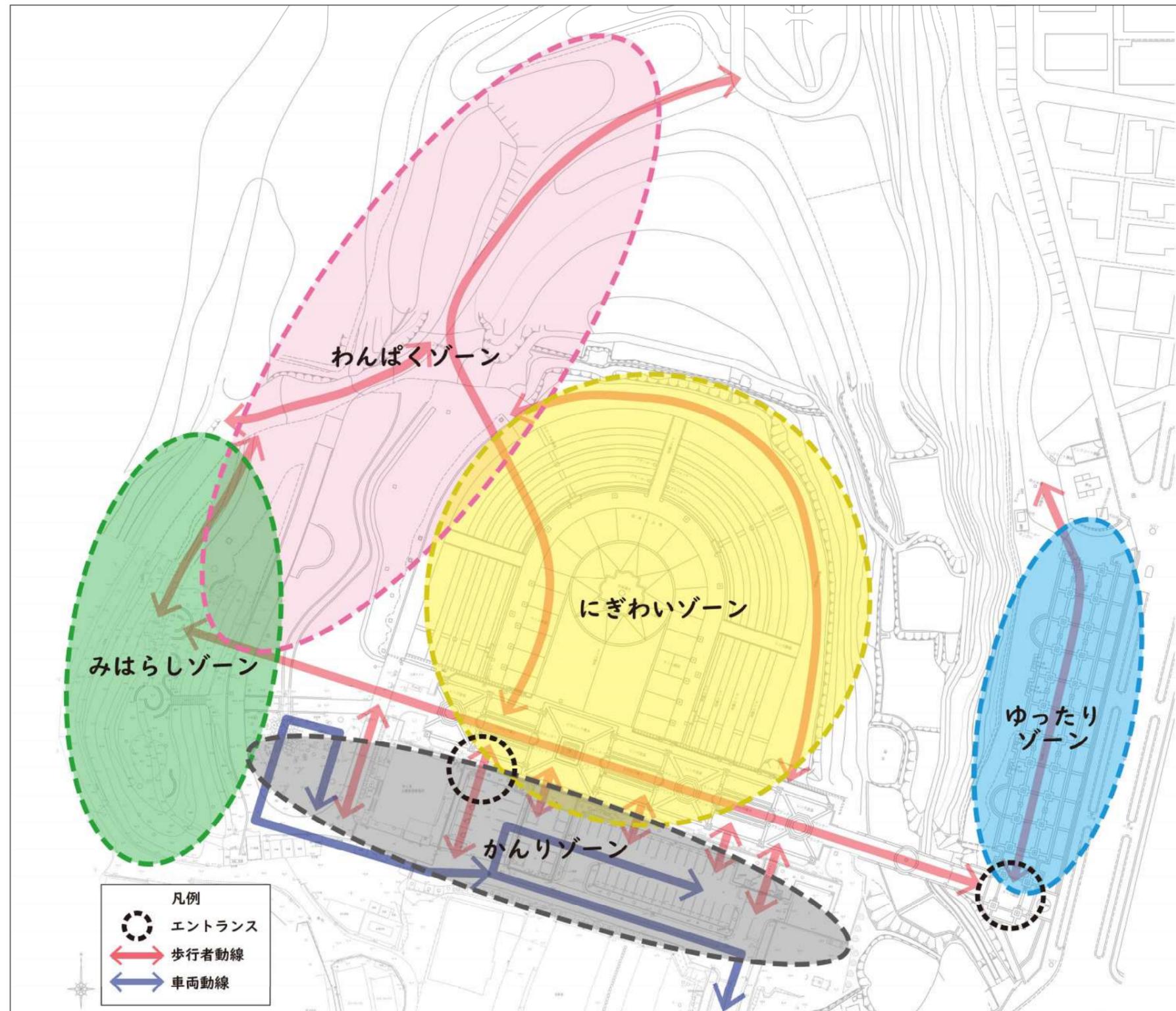


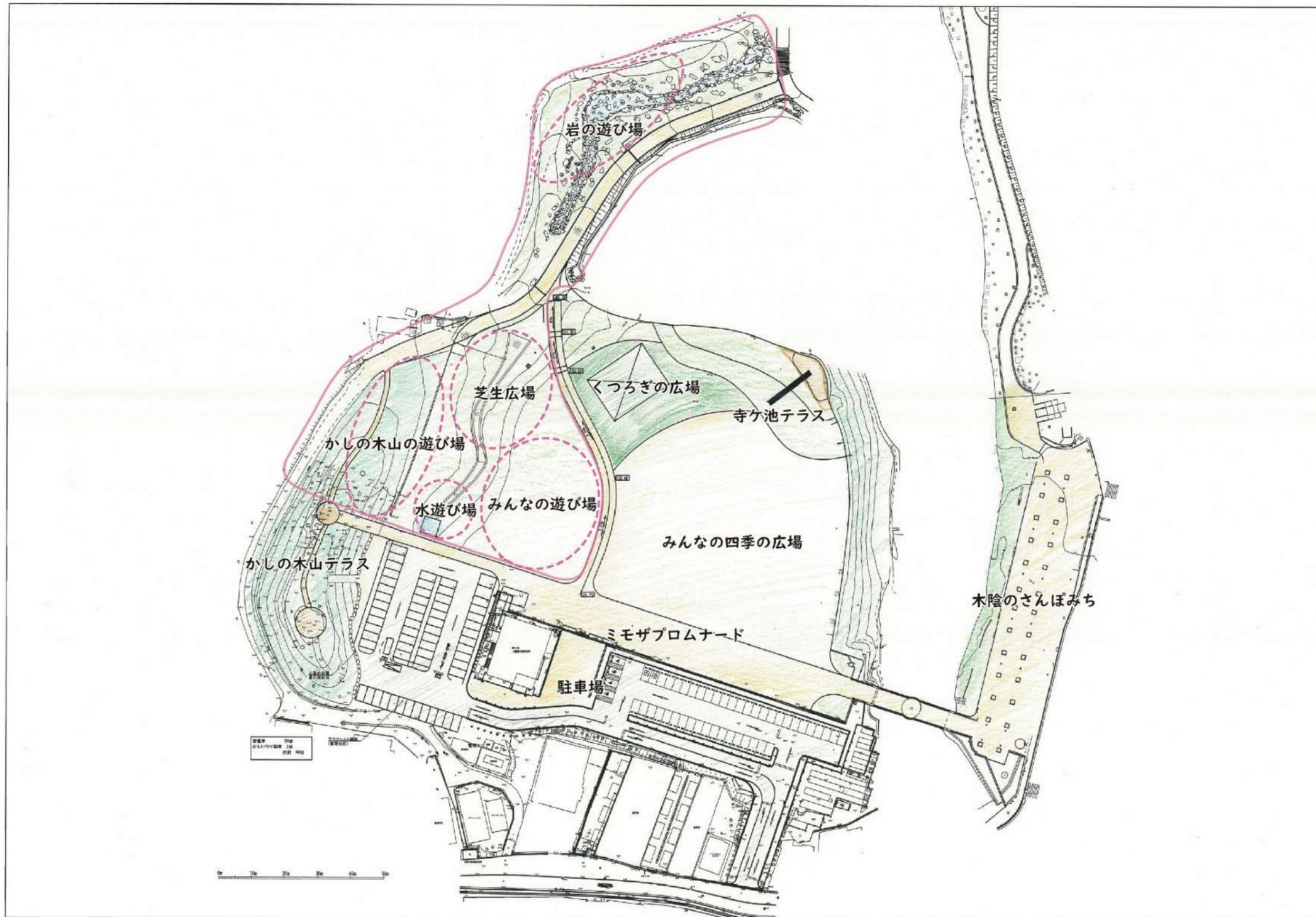
図 5.1 ゾーニング（案）

5.2. 整備コンセプト (案)



図 5.2 整備コンセプト (案)

5.2.1. わんぱくゾーン



岩の遊び場



芝生広場



みんなの遊び場

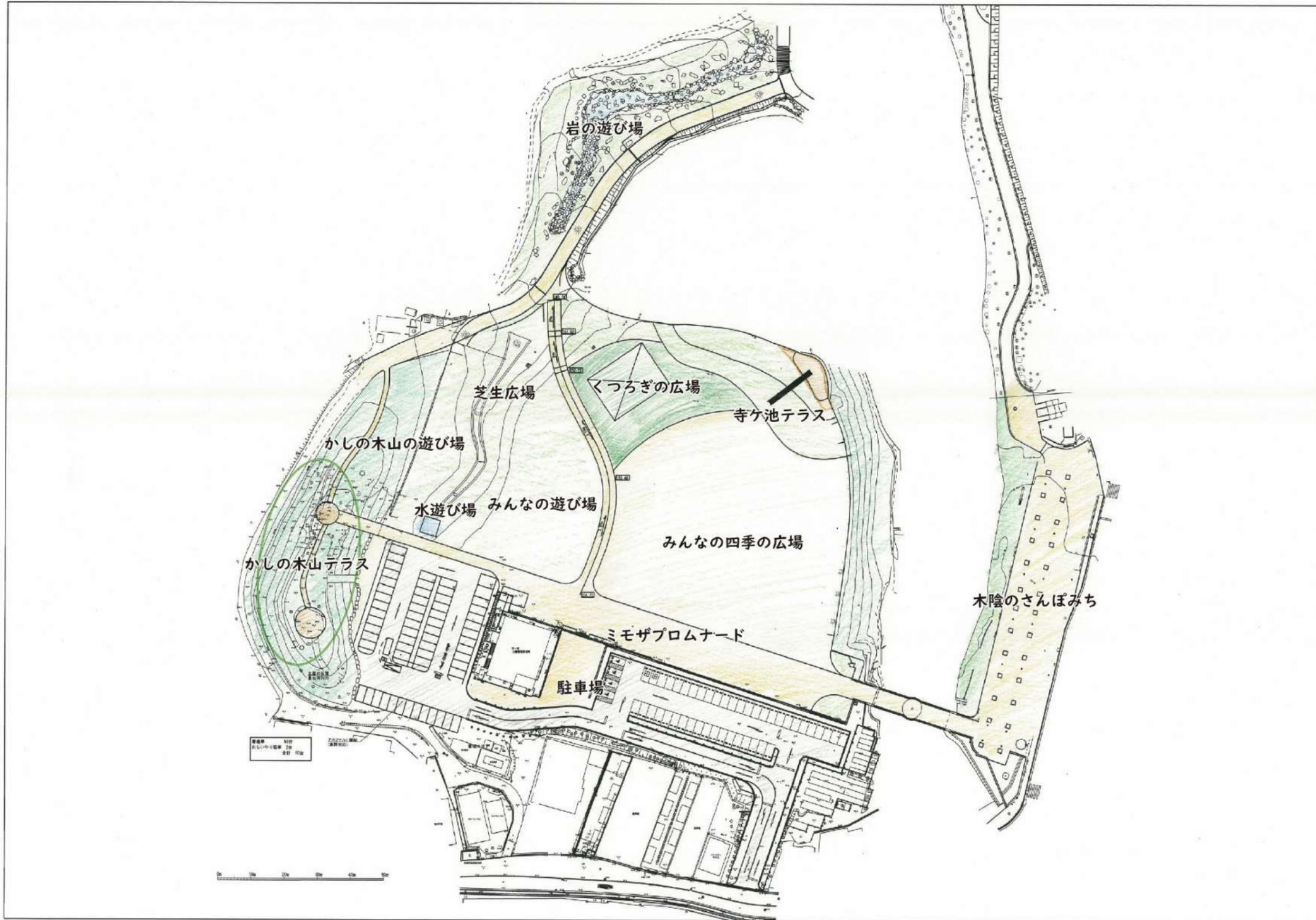


かしの木山の遊び場



水遊び場

5.2.2. みはらしゾーン



かしの木山テラス

5.2.3. にぎわいゾーン



くつろぎの広場



寺ヶ池テラス

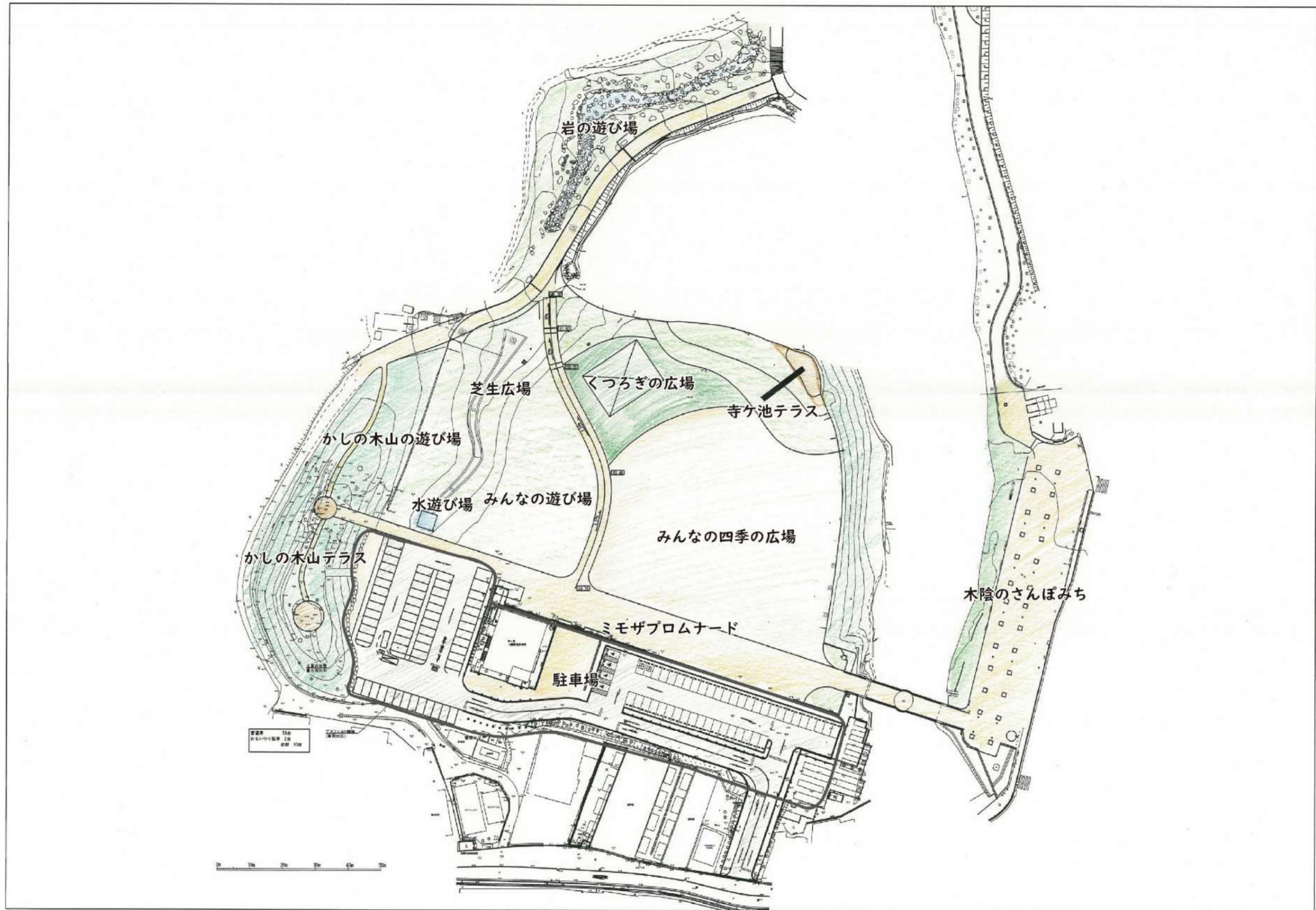


みんなの四季の広場

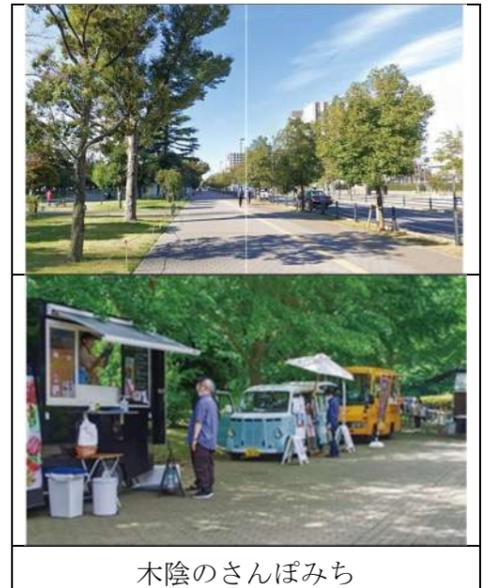
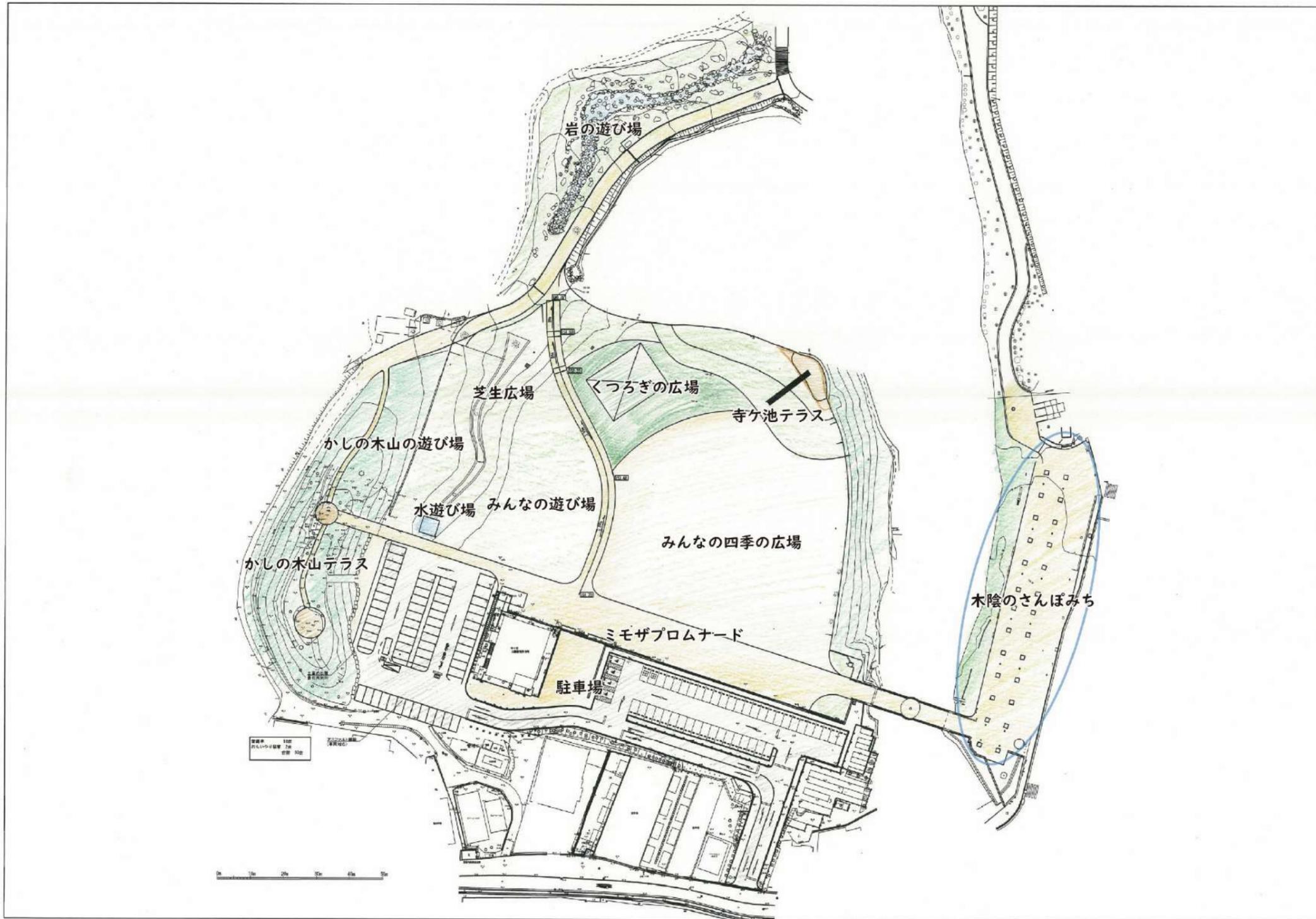


ミモザプロムナード

5.2.4. かんりゾーン



5.2.5. ゆったりゾーン



木陰のさんぽみち

6. 今年度における今後のスケジュールについて

次回の検討委員会までのスケジュールは以下の通りです。1月に実施するワークショップの最終回において、住民の皆さんと基本設計のイメージを共有し、参加者の皆様から幅広い意見を頂戴する予定です。これらのご意見を十分に踏まえたうえで、基本設計案の修正を行い、その結果を次回の検討委員会にてご報告させていただく予定です。

	2025年	2026年		
	12月	1月	2月	3月（工期）
基本設計				
ワークショップ	WS④	WS⑤		
検討委員会		委員会①		委員会②